

## 1 評価の実施

### ▷ 評価方法

評価は、アクションプログラムの5つの戦略、8つの施策、25の事業について進捗状況を把握し問題点を解決するために効果的に実施要領に基づき、数値目標の達成度等を一定の基準に照らし自ら毎年度実施します。また評価結果については商工会理事(役員)会で報告し、役職員が一体となり今後あるべき姿に向かって、改善点を今後の活動に反映させ常に見直しを重ねて、事業者の企業力向上に貢献しアクションプログラムの推進につなげていきます。

## 2 評価結果の概要

戦略・施策・事業評価の結果は、次の通りです。アクションプログラム全体としては一部未達成の施策等もありましたが、懸案であった皆瀬支所の統合の検討会に取り組みことができ、また組織の財政面を強化したことにより、安定した商工会運営が可能となり、今後さらに個社支援に力を入れる基盤が整備されました。

戦略評価:5戦略	A(順調)2戦略	B(概ね順調)0戦略	C(一部未達成)3戦略
----------	----------	------------	-------------

5戦略は、事業評価においてA(順調)2戦略、特に「機能的・効率的な商工会」で、皆瀬支所と本所の統合に向けた検討会・アンケート調査を実施して今後の方向性を定めることができました。「環境変化に強い商工会」戦略において、財政シミュレーションを実施したことで、中長期財政運営計画を立案に役立てることができました。

施策評価:8施策	A(順調)2施策	B(概ね順調)0施策	C(一部未達成)6施策
----------	----------	------------	-------------

8つの施策では「巡回相談の資質向上による伴走型個社支援の実施」で事業者DBを活用した個社支援並びにチーム支援(検討会)を実施した結果、各種補助金申請において採択率が向上しました。

「商工会活動強化のための中長期財政運営計画の策定」施策で自己資本比率が向上し、財政面に貢献しました。

事業評価:25事業	A(順調)7事業	B(概ね順調)6事業	C(改善が必要)12事業
-----------	----------	------------	--------------

「引当金積立計画の策定」事業は、財政運営積立預金を250万円積み増しができました。伝統的地場産業の後継者育成とブランド力を活かした新商品の開発が未達成であり、今後地域資源を活用した事業の取り組みを目指します。

### ▷ 評価結果の活用

今後アクションプログラムの精度を向上し推進していくために、評価結果で未達成戦略の各事業の内容、目標値を再検討し、次年度以降商工会事業の企画・立案に活用します。